

## 設定した解決したい課題

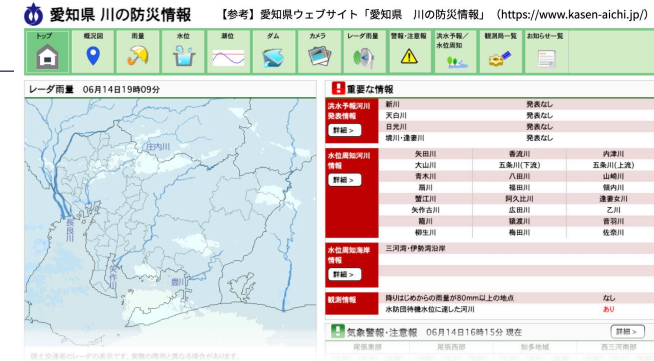
荒天時などの河川防災情報は自治体、住民にとってとても重要な情報。量が非常に多い情報の伝達のほとんどを職員の手作業で行っており、ヒューマンエラーの発生や効率化が課題となっている。そのため迅速かつ効率的な情報伝達手段を構築したい。

## 解決の方向性（採択企業との協議結果）

一般回線で受信したFAXを、OCRを用いてデジタル化し、仕分け・送付先をマッチングするシステムを構築。ヒューマンエラーの削減、作業効率化を実証、効果を検証する。

### <検証項目・KPI>

- ・業務時間短縮
- ・誤送信の防止
- ・送信業務記録の保持



## これまでの活動成果（現状報告）

- ✓ 現状の業務を細かくヒアリングし、河川防災情報発表時のプロセスやFAXのパターンなどを分析
- ✓ 要件定義とインターフェース設計を並行して行いシステムを構築
- ✓ 河川課内のインフラ環境を整理、実証環境を構築

## 現状と今後の方針

- ✓ 河川課の専用PCにシステム構築（リリース）を行い、第1弾、第2弾の2回に分けて実証実験を実施予定

## 実証実験の計画

方法：河川課内の専用PCに実証環境を構築し、システムテストを2回実施

期間：2022年12月から実証実験を予定

評価：担当者による操作感、OCR認識率、処理時間

